



仙北市

議会だより

No.29

2013年2月1日 発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会
広報編集・特別委員会

12月定例会・主な内容

仙北市議会12月定例会…	2～3
一般質問……………	4～11
常任委員会……………	12～14
議会報告会……………	15
傍聴席・編集後記……………	16

議会は蘇るか

仙北市議会議員 佐藤 峯夫

昨年の議会報告会の結果を読み、議会に対する市民の関心と評価の低さに愕然とした。

そして、議会不要論の発生を強く感じ、議会の存在価値をあらためて訴えたい。

- 一、法改正による首長の権限強化により、首長と議会との力関係の差が大きい。
- 一、そのため、首長の陰に隠れ、議会が見え難い。(長のパフォーマンスが大きいほど)
- 一、結局首長と対等な立場に立てる議会の資質の向上が急務。

以上が、今日の議会の現状分析である。そこで、蘇り策として次の点を申し上げたい。

- 一、首長の下請け(?) 機関の返上(議案に反対する勇気も含めて)
- 一、議案に対する徹底討論(客観的視野に立って)
- 一、修正案を堂々と提出できる実力と勇氣

少なくとも、以上の3点を持つ議員集団であれば、議会の動きが市民に率直に伝わり、議会の必要性も認められよう。但し、議会としての資質の向上には、市民による選挙が大きく起因する。選挙は、必ずしも優秀な人材を選ぶとは限らないからだ。

言い換えれば、「市民の資質≡議員の資質」とも考えられる。志高く使命感に燃ゆる人材を生み出す源は、市民にあることを自覚してほしい。以上、議会の現状分析と改善策を思うがまま、申し上げ、年頭の所感といたします。(1月4日記)